

平成 26 年 5 月 9 日

各 位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 中野吉晴

平成 26 年 3 月期 決算短信発表にあたり

わが国経済は、企業の業況判断の改善、雇用情勢の改善や設備投資の持ち直しなど景気回復の動きが確かなものとなりました。

個人消費にも一部に持ち直しの動きが見られたものの、食品業界においては、依然として低価格志向が継続しています。

このような経営環境の中、新商品の拡売および商品ブランドの強化に取り組み、連結売上高は前期を上回り、5,449 億円（前期比 104.2%）となりました。しかしながら、上期は、主に国内市場競争環境の激化により競争費用が増加したこと、下期は、原料乳価格の値上げや原材料価格の高騰に加え、円安の影響等による大幅なコストアップを吸収しきれなかったことなどにより、連結営業利益は 112 億円（前期比 74.9%）となり、増収減益となりました。

一方、将来に向けた取組みを着実に進捗させております。

戦略設備投資については、海老名工場におけるチルド飲料生産機能の集約を平成 26 年 3 月に完了いたしました。また、プロセスチーズとマーガリンの生産物流機能を集約する阿見工場は、平成 26 年度下期からの本格稼働に向けて、平成 25 年 12 月に物流棟を稼働させ、平成 26 年 3 月より製造ラインを順次稼働させております。海外事業については、インドネシアにおけるプロセスチーズ事業を開始いたしました。

これまで、平成 21 年 10 月に策定した中期経営計画の達成に向けて取り組んでまいりましたが、大幅なコストアップを始めとして経営環境は大きく変化しております。このような環境変化を踏まえ、1 年前倒しで平成 26 年度を初年度とする次期中期経営計画に移行し、次なる成長のための基盤固めに取り組むことといたしました。

次期中期経営計画では、「事業構造改革」「戦略投資設備の最大活用」「成長分野の事業拡大」「機能強化と体制整備」の 4 点を取り組みの柱とし、企業価値向上を目指し、取り組んでまいります。

また、役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、CSR 経営を積極的に推進してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上